



今月のくらし



子どもたちと散歩に出かけると、すっかり秋景色が広がるようになりました。足元にはアカマンマやエノコログサ、のこん菊にコスモスやススキが陽光を浴びて心地よい風に揺れています。青空の下に広がる刈田には落穂を啄ばむのしょうか白鷺が二羽三羽遠くには秩父連山が見えます。故郷のこの美しさは大きくなってもきっと子ども心のよみがえることでしょう。一年中で最も爽やかで美しい季節を迎えました。

今月も子どもたちと一緒に自然を体感しながら楽しく元気に保育園の暮らしを営みたいと思います。外遊びにはもってこいのこの頃です。こどもたちは先月の運動会に向けて精一杯努力してその力を発揮することが出来ました。練習の成果が稔りホッとして充実感に満ちている子供たちをさらに友達同士戸外でたのしく遊ばせたいと思います。様々な色をつけた落ち葉や愛らしい形のごんぐりなど、少し足を延ばせば自然のおもちゃがそこら中に転がっています。自然を愛でながら子ども達の感性を伸ばす遊びを致します。

めっきり寒くなり、朝晩の寒暖差が激しい季節でもあります。うがいや手洗いを一人一人丁寧に指導し、一年の中で最も風邪を引きやすいこの季節を乗り切ります。また、御家庭に置かれましては爪や髪(毛髪特に長毛の衛生にご配慮下さい)の清潔を保って頂きますようお願いいたします。

10月の予定

- 2日(木) 親子遠足
～栃木県子ども総合科学館～
- 3日(金) 文化の日
- 7日(火) 英語あそび
- 14日(火) 科学あそび
- 21日(火) 英語あそび
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 28日(火) 科学あそび
- 29日(水) お誕生日会

○親子遠足○

二日(木) 親子で遠足に行きます。行き先は宇都宮にある『栃木県子ども総合科学館』広い公園と科学館が融合した施設です。プラネタリウムを観たり公園で遊んだり、親子で、お友だち同士で、クラスで、一日ゆっくりしたいと思います。

○七五三○

十五日(水)は七五三。子どもたちの成長を願う儀式として、神社にお参りや御祓いをします。保育園では千歳飴の袋を製作します。完成したら千歳飴を入れてお持ち帰りします。

○ごんぐり拾い○

お天気の様子を見ながらクラスごとにごんぐり拾いに出かけます。秋を堪能してごんぐりをまた違う顔に変身させたり、布巾をごんぐり染めにして染め物の体験等を計画しています。各年齢にあっただ内容となりますが、楽しみにしててください。



感染症にご注意!

これから寒暖の差が激しい時期に入ります。日中は暖かく朝晩は冷え込みますので、体温調整がまだ上手にできない小さい子どもは体調を崩しやすくなります。それらに加え、冬の乾燥の時期でウイルスの増殖と共に感染症にかかりやすくなります。感染症を防ぐために、病気に負けない健康な体づくりを心がけることが大切です。日々の生活習慣の徹底から感染症にかかりにくい意識を高めましょう。

★身に付けたい生活習慣

《手洗い》
外あそびの後、食事の前、トイレの後など、しっかりと手を洗う習慣をつけましょう。

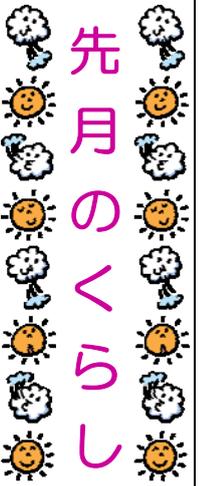
《うがい》
うがいによる口内のウイルス洗浄は一時的なもので、完全な感染症予防はできません。ただうがい後のさっぱりした感覚は子どもたちにとって感染症を防ぐ生活習慣への意識づけとしては大切なことです。

《栄養》
栄養バランスの良い食事は病気に負けない体づくりの基本! とくに朝食は体温を上げて、日中元気に活動する基本となります。

《睡眠》
睡眠不足と疲労は体の抵抗力を低下させます。親と一緒に夜型の生活になつてしまえば夜更かしをすることは、肥満の原因になったり、知的面・情緒面にも影響があるといわれています。夜は早く寝て朝はきちんと起きる規則正しい生活リズムが大切です。



先月のくらし



●脱穀・もみ取り●

九月に稲刈りした稲を数日かけて陰干しし、六日(金)さくら組が脱穀を体験しました。脱穀は穂をバラバラにして籾にする作業です。農家では脱穀機を使いますが子どもたちは手作業で。ペットボトルのキャップを使って穂をしごき、一粒一粒の籾にするという根気のいる作業です。一日では終わらないので、何日かかけてコツコツと行っていました。全部の脱穀が終わり、バケツ約一杯ほどの籾の量になりました。それを今度はもみ取りします。もみ取りは米を包んでいる籾を取る作業です。すり鉢に籾を入れすりこぎで擦りつけます。力を入れると米がバラバラになってしまい、力が弱いと籾が取れないという微妙な力加減が必要になってきます。すり鉢でゴリゴリとこすっていると白い米が顔を出し、やっと出会えたとばかりに満面の笑みを浮かべ「お米が出た〜!」と教えてくれました。もみ取りをしたお米は精米し、収穫祭でおにぎりを作ります。自分たちで育てたお米を食べるのは、いつも以上に美味しく感じるでしょう。



●第六十一回運動会●

十四日(土)天気が危ぶまれる中、六十一回目を迎えた運動会が開催されました。今年も親子競技やチーム対抗競技、個人競技など見どころ満載の競技を用意しました。

〜乳児部編〜

ヨチヨチ歩いたりハイハイしたりしながら山を越える姿に逞しさを感じ、ダンボールの電車にちよんこんと座った様子がとても可愛らしかったですね。たんぼぼ組すみれ組も踏ん張りながら斜面を上がり、日頃の園生活で力をつけた様子が伝わってきました。そばで見えていたおうちの方も、子どもたちの様子を温かな目で見守ってくださっていました。すみれ組のダンス『アンダー・ザ・シー』衣装を身に付けて踊りました。腰を振ると腰みのが揺れて、海の中で子どもたちがお魚になって踊っているように見えました。

〜幼児部親子編〜

目かくしをしたお父さんお母さんをゴールまで誘導するという、ちょっとスリリングなも組。二段に重ねた箱を棒に乗せて落とさないように運ぶうめ組。大人ばりの迫力を見せたさくら組の親子で二人三脚。子どもを釣り上げて二人三脚になっていない走りが面白かったです。

〜幼児部競技編〜

定番の競技『徒競走』では二十mを一生懸命に走りました。もも組の『ドンスカパンパン おうえんだん』体いっぱい元気に応援しながら踊っているところが可愛らしかったです。うめ組は保育園の伝統になりつつある『よさこいソーラン』長い半被をまとい、歯切れのよい踊りが格好良かったです。



さくら組の和太鼓はフォーメーションを変え、バージョンアップして披露しました。夏祭りでの初披露から短期間で完成度を高めた上達ぶりうかががわせてくれました。うめ組さくら組の混合チームで戦った『つなひき』どの子も負けまいと真剣に引っ張り合っていましたね。

なんととっても運動会の見どころ競技はさくら組『サーキット』朝の体操の時間にコツコツと逆上がりや登り棒の練習を続けてきた成果を一人一人披露しました。ほぼ直立に立てた板をよじ登る板登りでは、保育園で体を使って遊び込んできた証。我が子が逞しく成長した姿を間近で見ると、涙を流しながら感動されている方もいらっしゃいました。

〜保護者競技編〜

老若男女、誰でも楽しめる『誰でも参加できる』パン食い競走。今年少しスパシナルなパンも登場し、走りながら選べる楽しみも増えました。乳児部vs幼児部の選抜メンバーで競った『オセロでポン!』高校生か?と思うくらい楽しそうにはしゃいでいて、応援する側も見ていて楽しかったです。

競技に参加した人応援した人、会場にいる全員が笑顔に溢れた運動会でした。

●さつまいも掘り●

六月に植えたさつまいも苗。ひよろひよろとして頼りない苗でしたが、土の中でゆっくりと時間をかけて、グングンと大きくなりました。二十六日(木)さくら組がいも掘りをしました。手で土を掘ると、さつまいもがひょこっと顔を出し、ツルを引っ張るとゴロゴロと出てきました。子どもの顔くらいある大きな物からおちびちゃんまで、色々な顔のさつまいもが掘れました。今年は豊作です!たくさん採れたさつまいもは、収穫祭でさつまいもスイーツを作ります。そして掘り終えた後のツルは葉っぱを取り除き、クルクルと丸く巻いて製作に使います。掘ったり食べたり遊んだり、いろいろ楽しめるさつまいも。収穫祭で豊作に感謝したいと思います。



11の保育目標

つくし組 (0歳児)

遊び

- 秋の自然に触れ、戸外遊びを楽しむ。
- お友だちや保育者と一緒にふれあい遊びや音楽に合わせて体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 個々の発達に応じた玩具や絵本を使い、指先を使う遊びやお気に入りの絵本を見て楽しむ。

歌

「きのこ」「まつぼっくり」等

絵本・紙芝居

「さつまのおいも」「だるまさんが」「おつきさま こんばんは」他

生活指導

- 朝夕と日中の寒暖差が大きいので衣服の調節をしながら、快適に過ごせるようにする。
- 自分で食べたいという意欲を尊重し、手づかみやスプーンを使うなど、ここに応じた援助をする。

手遊び

「やきいもグーチーパー」「大きな栗の木の下で」他

たんぽぽ組 (1歳児)

遊び

- 保育者や友だちと戸外遊びや散歩を楽しみながら秋の自然に触れて遊ぶ。
- 興味のある絵本を保育者と一緒に見ながら簡単な言葉の繰り返しを楽しむ。

歌

「山の音楽家」「きのこ」「まつぼっくり」

絵本・紙芝居

「どんどこもちゃん」「おおきなかぶ」「おつきさまこんばんは」他

生活指導

- 保育者と一緒に手を洗い、気持ちよさを感じる。
- 苦手な物も少しずつ自分から食べようとする気持ちを持つ。
- 衣服の調節に興味を持ち、自分でしようとする。

手遊び

「やきいもグーチーパー」「おべんとバス」「おちた おちた」他

すみれ組 (2歳児)

遊び

- 秋の自然に触れながら、散歩を楽しむ。
- 簡単な言葉のやりとりを楽しみながら、友だちと関わり遊ぶ。

歌

「たきび」「きのこ」「こおろぎ」他

絵本・紙芝居

「さつまのおいも」「さわさわもみじ」他

生活指導

- 外遊び後、手洗いうがいをする。
- 尿意を感じちあらトイレで排泄をする。
- 鼻水が出たことに気が付き、自分で拭いたりかんだりする。

手遊び

「いとまき」「やきいもグーチーパー」他

もも組 (3歳児)

ねらい

- 友だちと遊ぶ中で、決まりやルールの大切さがわかり守ろうとする。
- 秋の自然に興味を持ち、季節の変化に気づいたり遊びに取り入れたりする。

健康

- 気温に応じて衣服の調節を行う。
- 手洗いうがい鼻水の始末など自分から気付いて行う。

人間関係

- 保育者や友だちとごっこ遊びを楽しむ。
- ルールを守り合うことで、より遊びが楽しくなることを知る。

環境・自然・数量関係

- 自然や季節の変化を感じながら戸外遊びを楽しむ。
- 戸外遊びや散歩の時に秋の背中に触れたり集めたりして遊ぶ。

言語

- してほしいこと、やめてほしいことを自分の言葉で伝える。
- 劇などのセリフを覚えたり、言葉のやり取りを楽しむ。

今月の読み聞かせ

「14ひきのあきまつり」「もりのおふるやさん」他

表現・絵画制作

- おゆうぎ会に期待を持ち、歌を歌ったり楽器に触れ楽しむ。

今月の歌

「きのこ」「やきいもグーチーパー」他

手遊び

「山小屋いっけん」「くいしんぼうのゴリラ」他

うめ組 (4歳児)

ねらい

- 友だちとの思いを共有しながら遊んだり生活したりすることを楽しむ。
- 色々な秋の自然に触れて遊び、季節の変化を味わう。

健康

- 手洗いうがいを進んで行い、風邪予防をする。
- 当番活動や身の回りのことを自分から進んで行う。

人間関係

- 自分の気持ちを相手に伝えながら、同じように相手にも気持ちがあることに気付いていく。
- ルールを守りながら集団遊びを楽しむ。

環境・自然・数量関係

- 季節の変化に気付き、自然事象に興味関心を持つ。
- 生活の中で文字や数字に興味を持ち覚えようとする。

言語

- 自分の子持ちを自分なりに言葉で伝える。
- 言葉集めやしりとりを通して興味をもち楽しみながら参加する。

今月の読み聞かせ

「おつきさんのぼうし」「おむすびころりん」他

表現・絵画制作

- 友だちと協力して劇や合奏に取り組み、表現することの楽しさや大変さを味わう。

今月の歌

「まつぼっくり」「まっかな秋」他

手遊び

「おべんと箱」「ちゃつぽ」他

さくら組 (5歳児)

ねらい

- 季節の変化を感じながら、のびのび生活する。
- 製作活動を通し、作る楽しさを味わう。

健康

- 食事、睡眠を十分にとり生活習慣を整える。
- 乾燥を防ぐため、加湿やうがい、水分補給などこまめに促す。

人間関係

- 友だちとルールのある遊びを楽しむ。
- 年下の友だちにわかるように教えたりできないところを手伝ったりする。

環境・自然・数量関係

- 園庭や散歩先で木々の変化など、変わりゆく季節に目を向ける。
- 拾った木の実や落ち葉を数えたり数や形などに触れて関心を持つ。

言語

- 互いの考えを伝えあい、考えの違いがあることを理解し、話し合いながら遊びを進めていく。

今月の読み聞かせ

「ブレーメンのおんがくたい」「きゅうじつどうぶつえんあいうえお」「たねっぽのおはなし」他

表現・絵画制作

- お遊戯会に期待を抱き、歌やお遊戯の練習に取り組み体を使って表現する楽しさを味わう。

今月の歌

「たきび」「もみじ」「ね」他

手遊び

「やきいもグーチーパー」「山小屋いっけん」他